

## 教育・心理学部

### <卒業条件>

卒業するためには、学部が定めた卒業条件を満たす必要があります。なお、所属学科の他専修・他コース科目の単位は、自学科の単位として扱われます。

- ① 4年間以上在学した上で、第4学年を修了する
- ② 計124単位以上の修得
  - ・ただし、自由科目の単位数は除く
  - ・他学部・他学科・他大学単位互換科目は含む
- ③ 修得した単位の内、自学科の総合基礎科目28単位以上含む
- ④ 修得した単位の内、自学科の専門科目66単位以上含む
- ⑤ 卒業必修科目（必修科目および選択必修科目）の単位修得（該当する科目は「授業科目履修規定別表」（P.17）を確認してください）
- ⑥ 学部所定の要件に従い、卒業研究を提出し、合格する

### ●全学共通科目の必修科目、全員履修科目

授業科目名称	学年・期		単位数	学科・専修・コース				備考
				保育	学校	特支	心理	
スポーツ実技	1	通	2	●	●	●	△	
フレッシュマンイングリッシュⅠ-1	1	前	1	●	●	●	●	
フレッシュマンイングリッシュⅠ-2	1	後	1	△	△	△	△	
フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	1	前	1	●	●	●	●	
フレッシュマンイングリッシュⅡ-2	1	後	1	△	△	△	△	
情報処理演習Ⅰ	1	前	2	●	●	●	△	
情報処理演習Ⅱ	1	後	2	△	△	△	△	
言語と文化Ⅰ	1	前	1	△	△	△	○	いずれかの言語のクラスを
言語と文化Ⅱ	1	後	1	△	△	△	○	IⅡセットで履修

●必修科目 △全員履修科目 ○選択科目

※外国人留学生入試による入学者は、原則として、フレッシュマンイングリッシュの代わりに「日本語と文化Ⅰ-1～Ⅳ-2」を修得します。

### ●学部共通科目の必修科目、全員履修科目

授業科目名	学年・期		単位数	学科・専修・コース				備考
				保育	学校	特支	心理	
保育実践入門	1	前	2	△	○	○	○	
教育実践入門	1	前	2	○	△	△	○	
障害学入門	1	前	2	○	○	△	○	
心理学概論	1	前	2	○	○	○	●	
総合演習Ⅰ	1	前	2	△	△	△	△	
日本国憲法	1	後	2	●	●	●	○	
総合演習Ⅱ	1	後	2	△	△	△	△	
保育学基礎演習	2	前	2	△	×	×	×	
教育学基礎演習	2	前	2	×	△	△	×	
心理学基礎演習	2	前	2	×	×	×	△	

●必修科目 △全員履修科目 ○選択科目 ×履修不可科目

【授業科目履修規定別表】

学部共通			
1、所属する学科の総合基礎科目 28 単位以上、専門科目を 66 単位以上修得し、他学部・他学科開講科目を含めて、合計で 124 単位以上修得していること。ただし、自由科目を除く。			
2、学部所定の要件に従い卒業研究を提出し、合格していること。			
子ども発達学科			心理学科
保育・幼児教育専修	学校教育専修		
	学校教育コース	特別支援教育コース	
<p>■卒業必修科目</p> <p>スポーツ実技 フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1 情報処理演習Ⅰ 日本国憲法 子ども発達学専門演習Ⅰ 子ども発達学専門演習Ⅱ</p> <p>以下の科目から 10 単位以上修得すること。 保育原理Ⅰ 保育原理Ⅱ 教育原理（幼保） 教育と発達の心理学（幼保） 保育・教育制度論 保育方法論Ⅰ 保育方法論Ⅱ 保育職論 社会福祉論 保育・教育課程論 特別支援教育概論（幼） 子ども家庭福祉論Ⅰ 子ども家庭福祉論Ⅱ 子ども家庭支援論 社会的養護 教育福祉論 障害者論 学童保育論</p> <p>以下の科目から 2 単位以上修得すること。 保育内容演習 乳幼児と音楽（演習） 乳幼児と造形（演習） 乳幼児と健康（演習） 乳幼児と言葉（演習） 乳幼児と人間関係 乳幼児と環境</p> <p>以下の科目から 16 単位以上修得すること。 からだと健康（保育内容A） 仲間と交わり（保育内容B） 生活と環境（保育内容C） 発達と言葉（保育内容D） 感性と表現（保育内容E） 音楽表現 造形表現 身体表現 子ども理解の理論と方法 教育・臨床相談の基礎演習 保育カンファレンス演習</p>	<p>■卒業必修科目</p> <p>スポーツ実技 フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1 情報処理演習Ⅰ 日本国憲法 子ども発達学専門演習Ⅰ 子ども発達学専門演習Ⅱ</p> <p>以下の科目から 2 単位以上修得すること。 教職入門 教育と発達の心理学 教育原理 教育制度論 特別支援教育概論</p> <p>以下の科目から 4 単位以上修得すること。 教育課程論 教育方法論（情報通信技術の活用含む） 生徒・進路指導論 道徳教育の理論と方法 特別活動方法論 教育相談の基礎と方法</p> <p>以下の科目から 4 単位以上修得すること。 国語科研究 社会科研究 算数科研究 音楽専門研究Ⅰ 造形専門研究Ⅰ スポーツ専門研究Ⅰ 理科研究 生活科研究 家庭科研究 外国語研究</p> <p>以下の科目から 4 単位以上修得すること。 社会福祉論 子ども家庭福祉論Ⅰ 子ども家庭福祉論Ⅱ 学校福祉論 教育福祉論 司法福祉論</p> <p>以下の科目から 4 単位以上修得すること。 国語科教育法 社会科教育法 図画工作教育法 体育科教育法 算数科教育法 理科教育法 生活科教育法 家庭科教育法</p>	<p>■卒業必修科目</p> <p>スポーツ実技 フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1 情報処理演習Ⅰ 日本国憲法 特別支援教育論 子ども発達学専門演習Ⅰ 子ども発達学専門演習Ⅱ</p> <p>以下の科目から 2 単位以上修得すること。 教職入門 教育と発達の心理学 教育原理 教育制度論 教育課程論 教育方法論（情報通信技術の活用含む） 生徒・進路指導論 道徳教育の理論と方法 特別活動方法論 教育相談の基礎と方法</p> <p>以下の科目から 2 単位以上修得すること。 国語科研究 社会科研究 算数科研究 理科研究 生活科研究 家庭科研究 外国語研究</p> <p>以下の科目から 2 単位以上修得すること。 社会福祉論 子ども家庭福祉論Ⅰ 子ども家庭福祉論Ⅱ 学校福祉論 教育福祉論 司法福祉論</p> <p>以下の科目から 2 単位以上修得すること。 国語科教育法 社会科教育法 図画工作教育法 音楽科教育法 体育科教育法 算数科教育法 理科教育法 生活科教育法 家庭科教育法</p>	<p>■卒業必修科目</p> <p>フレッシュマンイングリッシュⅠ-1 フレッシュマンイングリッシュⅡ-1 心理学概論 心理学研究法 心理学実験 心理学専門演習Ⅰ 心理学専門演習Ⅱ</p> <p>以下の科目から 4 単位以上修得すること。 発達心理学 心理データ処理演習 精神疾患とその治療 福祉心理学 心理療法論 コミュニケーションスキル演習Ⅰ</p>

子ども発達学科		心理学科	
保育・幼児教育専修	学校教育専修		
	学校教育コース		特別支援教育コース
子どもの食と栄養演習 子ども家庭支援の心理学 子どもの理解と援助 子どもの保健 乳児保育論 乳児保育演習 障害児保育演習 子どもの健康と安全 ソーシャルワーク演習 社会的養護内容演習 子育て支援演習 教育実習Ⅰ（幼・事前事後） 教育実習Ⅱ（幼） 保育・教職実践演習 保育実習ⅠA（保育所） 保育実習指導ⅠA（保育所） 保育実習ⅠB（施設） 保育実習指導ⅠB（施設） 保育実習Ⅱ（保育所） 保育実習指導Ⅱ（保育所） 保育実習Ⅲ（施設） 保育実習指導Ⅲ（施設）	音楽科教育法 体育科教育法 算数科教育法 理科教育法 生活科教育法 家庭科教育法 外国語教育法 総合的な学習の時間の指導法	外国語教育法 総合的な学習の時間の指導法  以下の科目から4単位以上修得すること。 知的障害児教育論 知的障害児指導法 肢体不自由児教育論 肢体不自由児指導法 特別支援教育課程論  以下の科目から4単位以上修得すること。 聴覚障害児指導法 重度重複障害児教育論 重度重複障害児指導法 発達障害児指導法 障害児教育特論  以下の科目から4単位以上修得すること。 知的障害児の心理 知的障害児の生理と病理 肢体不自由児の心理 肢体不自由児の生理と病理 視覚・聴覚・病弱児論 発達障害児論  以下の科目から2単位以上修得すること。 聴覚障害児の心理・生理・病理 病弱児の心理・生理・病理	

備考：外国人留学生入試による入学者は、原則として「日本語と文化Ⅰ-1」「同Ⅰ-2」「同Ⅱ-1」「同Ⅱ-2」「同Ⅲ-1」「同Ⅲ-2」「同Ⅳ-1」「同Ⅳ-2」を「フレッシュマンイングリッシュⅠ-1」「同Ⅱ-1」に替えて修得する。